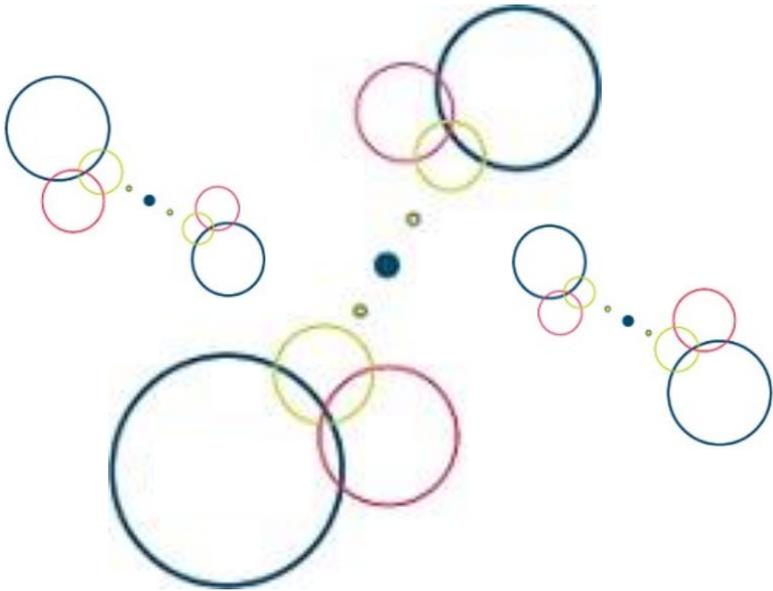


廣瀬仁のルポルタージュ

靈的人生を歩むためのヒント

2026/2/28 本物のスピリチュアリズムへの移行





「E21-F ④」 アルト ノウロウイ ARUT.NOROUY 足立育朗

スピリチュアリズム運動の本質

靈界主導の地球人類救済計画は、イエスが総指揮者リーダーになり、あらゆる分野を改革し地球人類を救うという600年前にスタートした大計画です。その計画は200年前にイエスの地上誕生により完遂される予定でしたが、西暦23年からイエスは靈的眞理の傳道でんどうを開始しわずか3年の傳道でんどうで地上世界で「冤罪で殺される」という想定外の出来事により、地球人類救済計画は300年ほど遅れる結果になりました。

それからイエスは死後の存續そんぞくを實証しようと、幽體ゆうたいで12人の弟子に死後の存續そんぞくを傳つたえましたが、12使徒の誰ひとりイエスの言葉を正しく受け取らなかつた結果、キリスト教というイエスの教えに反する宗教が出来上がりました。

そうして地上世界の大半は、キリスト教というイエスの教えに反した宗教により、宗教を信仰すればするほど死後に地縛靈となるとという悲劇を繰り返してきました。

地球の「地上世界」は、地球の「靈的世界」から見ると「暗黒地獄」と呼ばれる世界であり、それは他の天體てんたいの存在も同意見なほど劣悪な環境の世界です。地球の地上世界がなぜこれほど劣悪な環境になったのか、その本質的原因は「靈的無知による利己主義、物質中心主義」が根本原因です。

しかし、なぜここまで地上人類が靈的無知になったのか、それは「靈的本質に無關心」な一般大衆と、「既得権益を守るために無口」を貫いた地上世界の支配権力が靈的無知の最大の原因です。これにより、地球の地上世界は地獄のような世界になって

しまいました。

この悲劇の原因は「間違った宗教」と「間違った教育」にあると霊界は判断し、間違った宗教、間違った教育を一掃し、神の正しい教えを地上世界に普及することで地上世界を救おうとしています。

イエスは西暦26年に地上世界で殺された後、地球の霊的世界の80 Km以上という宇宙圏霊界の階層に戻り、そこから1800年以上かけて、もう2度と失敗しないための霊界での組織づくりに従事し、霊界で地上世界を改革する準備を徹底的に整えました。そして入念な準備をした上で、1848年のフォックス家事件より本格的に霊界通信をスタートし、1920年〜1981年にシルバーバーチの通信、1981年〜2021年にスピリチュアリズム

普及會ふきゆうかいに働きかけ、その結果が結實し、2021年にスピリチュアリズム普及會ふきゆうかいの靈媒2

人を通してイエスの地上再臨が実現します。このイエスの地上再臨というイエス主導

のスピリチュアリズムを地上世界の最前線で実行する前に、前もって「神の正しい教

えを地上世界に普及する」役割を受け持ったのが『シルバーバーチの靈訓』です。こ

のシルバーバーチの靈訓は神の教えが100%正しく反映されているとイエス本人が述

べており、「神の正しい教えを地上世界に普及することが地上世界を悲劇から救うこ

とになる」のです。これがスピリチュアリズム運動の本質になります。

地球人類救済計画
スピリチュアリズムの大衆化がニューエイジ運動の本質

イエスの教えである『シルバーバーチの靈訓』は、靈界主導のスピリチュアリズム

地球人類救済計画

運動の中で「最高峰の靈界通信」として、またス。ピリチュアリズム思想の集大成として登場しました。こうした背景があつて『シルバーバーチの靈訓』は、地球人類救済計画に關わるすべての靈界通信の中で文句なしに最頂点に立っています。しかし、シルバーバーチの靈訓はあまりにも教えが崇高すぎて、到底一般大衆に受け入れられる内容ではありません。そこで、「ス。ピリチュアリズムの大衆化」という目的で1960年代よりスタートしたのが「ニューエイジ運動」の本質になります。ス。ピリチュアリズムもニューエイジも名称が違うだけで、イエスをリーダーを総指揮者にした靈界主導の地球人類救済計画ス。ピリチュアリズムです。

その最終目的は「**宗教の統合**」であり、地上再臨したイエスは『シルバーバーチの靈訓』と『ス。ピリチュアリズムの思想體系たいけい』の普及により間違つた宗教、間違つた教

育を一掃し、神の正しい教えを地上世界に普及することで地上世界を救おうとしています。そして1960年代よりスタートしたニューエイジ運動は「スピリチュアリズムの

地球人類救済計画

衆化」および「精神革命」という目的で始まった動きであり、ニューエイジの最終目

的は「星信仰の復活」にありました。そのため、アキネートニックスの「形態波動エネルギー

ギー研究所」とアメリカの「autonics統合いがく醫學研究所」です。

最終的に増川いづみ博士の「ユニバーサル・バランス」が星信仰の復活を担当する

予定でしたが、本人の靈性が予定より低く、廣瀨仁が星信仰の復活を担当する形にな

地球人類救済計画

りました。この理由は、増川いづみ博士が「スピリチュアリズム」を正しく理解して

地球人類救済計画

いかなかったことが最大の理由です。増川いづみ博士が靈界主導のスピリチュアリズム

運動の本質を正しく理解していたならば、こういう結果にはならなかったでしょう。

ニューエイジ運動の靈界通信の問題点

チャネリング

ニューエイジ運動の最終目的は「星信仰の復活」、地球人類救済計画「スピリチュアリズムの大衆化」という「精神革命」にあった。最終的な目標は靈的眞理の普及による「宗教の統合」という「大宗教革命」にあることは明白です。

その前段階である星信仰の復活は「精神覺醒運動」かくせいにより靈的眞理を受け入れる下地をつくることです。この重大な事實に気づいている人は地上人類には廣瀨仁以外には一人もいません。その中心は「音叉セルフヒーリングによる眞の禱り」いのち「生命の調律」S.P.O.U.Wにあり、ニューエイジ運動の最終目標は「地上人類全員が背後靈とテレパシー通信できるようにする」S.P.O.U.Wことにあります。しかし、ここがニューエイジ運動の最大の問

題にも繋がってしまっています。

ニューエイジ運動の最終目標は「地上人類全員が背後靈とテレパシー通信できるよ

SEPOUW

うにする」、「靈界通信」を可能にすることです。別な表現だと「靈界通信」と言いま

チャネリング

すが、靈界通信における最大の問題点は、優れた通信と低俗な通信の判別がつけられていないということです。ニセモノと本物の區別が全くなされていません。スピリチ

かがくしゃ

ュアリズムがこれまでに科学者サイドからの厳しいチェックを経てきているのに対

チャネリング

して、ニューエイジ系の靈界通信にはいまだそうした検証というプロセスが存在しま

チャネリング

せん。ニューエイジ系の靈界通信では、スピリチュアリズムにおいて行われてきたよ

うな通信ソースに対する厳しい検証などは一切實施されていないのです。わたし達はすでに、靈界通信のレベルにはピンからキリまであるということを知っています。そ

の原因として、**靈界通信を送る側のソースの大半が低級靈であり、地上世界サイドも正確な靈界通信をしている靈媒が全くないことが原因です。**

古いレベル、新しいレベル、本物のレベルへのシフトアップ

地上人類の發展段階として、「物質的レベル↓精神的レベル」「精神的レベル↓靈的レベル」の三段階があるとシルバークーチは言っています。

地上世界の地上人類は現時点、「物質的レベル↓精神的レベル」への移行過程にあります。その中でニューエイジ運動は、「精神的レベル↓靈的レベル」へ移行させるといって一歩進んだ過程を歩んでいます。そしてそのニューエイジの中では「星信仰

地球人類救済計画
の復活」、「スピリチュアリズムの大衆化」、「精神革命」という目的のための「音叉セ
ルフヒーリング」のみが純粹に靈的分野に属するものです。

地球人類救済計画
スピリチュアリズムの段階は、「物質的レベル↓精神的レベル」の段階を「古いス
ピリチュアリズム」といい、「精神的レベル↓靈的レベル」の段階を「新しいスピ
リチュアリズム」といいます。

新しいスピリチュアリズムのことをニューエイジというのですが、ニューエイジの
キーワードは、「靈界通信・靈的眞理・靈的人生」です。その靈界通信の中で最高峰
が、『シルバーバーチの靈訓』です。したがって『シルバーバーチの靈訓』は、ニュ
ーエイジの中で最も中心的な部分を占めています。『シルバーバーチの靈訓』を中心

とする「新しいスピリチュアリズム」は、地上に再臨したイエスの下で「眞のスピリチュアリズム・本物のスピリチュアリズム」へと進化する必要があります。

ニューエイジ運動から本物のスピリチュアリズム運動への移行への課題

それは、たとえ『シルバーバーチの靈訓』を中心とする新しいニューエイジ運動であつても、「イエスの地上再臨」を受け入れることができないなら、存在価値を失つてしまうということを意味しています。存在価値を失つてしまふどころか、イエスの願いに背き、イエスに反逆する有害な存在に堕ちてしまふ可能性があります。当然ですが、そうした愚行はすべての靈界人を敵に回すことになり、靈界からの援助・協力は一切得られなくなります。現在の地上世界の最大の課題は「星信仰の復活」という

精神革命の段階から、「イエスの地上再臨を受け入れ、神とイエスと靈界に従うとい
う本物のスピリチュアリズム」に移行できるかが人類全員の課題です。それが、今後
のスピリチュアリズムの展開を大きく左右することになります。

地球人類救済計画

本物のスピリチュアリズム運動への移行に必要な3つの条件

なぜ、廣瀬仁が星信仰の復活という、「スピリチュアリズムの大衆化」、地球人類救済計画「精神革命
運動」として「音叉セルフヒーリングの普及」を担当することになったのか、それは
3つの厳しい条件をクリアしたからです。

第1の条件は「イエスの地上再臨を受け入れる」第2の条件は「イエスが地上再臨

のために準備した『シルバーバーチの靈訓』と『スピリチュアリズムの思想體系』たいけいを正しく理解し、實踐する」、そして第3の条件は「イエスの地球人類救済計画の道具として、地上に再臨したイエスと、更に上の存在である神に自分の人生を捧げる」とです。

こうした3つの条件を完全に満たしたとき、『シルバーバーチの靈訓』を中心とするニューエイジ運動は、その次元をさらに高めて「本物のスピリチュアリズム」へと進化することができるのです。そのためにわたしはイエスの地上再臨の広報をし、イエスの願いに背き、イエスに反逆する有害な存在にならないように皆さんを指導しています。イエスに逆らうという愚行は何百億もの靈界人を敵に回すことになり、靈界からの援助・協力は一切得られなくなります。だからわたしは、「イエスとスピリチ

ユアリズム普及會ふきゆうかいに従っておけ」と皆さんに忠告するのです。

靈界主導の大計画の道具と、大計画の成就のための手段

わたしはこうした全貌をすべて把握した上で「音叉による生命いのちの調律」を普及しています。こうした真意に気づいている人は過去にひとりもいませんでした。この情報を正しく受け取り地上人生に反映してくれるのは「岐阜のメンバー」ぐらいでしょう。他の地域の人間は、相變かわらず真理を實踐しませんし、顯在D I K A G意識で間違った解釈を延々と繰り返しています。廣瀬仁はイエスを総指揮者リーダーにした靈界主導の大計画の成就のための道具であり、その願いは「靈的成長による眞の幸福、眞の救済」を地上世界に普及することであり、そのための手段が音叉セルフヒーリングの普及なのです。